〇グループ全体

　それぞれ自己紹介をし、課題設定について、意見を出し合った。意見の中では、スロットゲームの製作や、色盲の人のために画像の色を伝えるソフトなど、様々な意見が出た。そして、課題について大まかな内容が決まった。課題の内容は、アキネイターという、プレイヤーが想像しているキャラクターを、はい、いいえなどの回答で答えるゲームを参考にし、そのキャラクターの部分を、新潟大学の教授に変えて、プレイヤーが想像している教授を当てるゲームをPython(Flask)、JavaScript、HTMLを用いて製作することに決めた。アキネイターは決定木を用いたアルゴリズムを使って作ると決めた。誰がどの役割かまでは決まらなかったが、どのような役割の分け方にするかの案は出た。

〇個人